

天然由来成分の防虫忌避剤による マイマイ蛾対策に関する御提案

株式会社シーアンドシー技術情報

DF・FM事業部

忌避剤によるマイマイ蛾対策

忌避とは単に虫を殺してしまう殺虫剤とは違い、匂いなどを嫌う作用を利用し虫を寄せ付けないことです。

ひばのカシリーズ

天然由来成分などを主剤としていますので、環境にやさしく人体に害を与えることもなく、安全に持続性効果を発揮します。

天然由来成分の防虫忌避剤

□ エバーション・W214M（マイマイ蛾など）

- ・ヒバ・ヤシ・クスノキのテルペン由来成分とニームオイルをマイクロカプセル化した水溶性の防虫忌避剤です。
- ・忌避効果は3～6ヶ月持続しますので産卵期前に散布しますとマイマイ蛾対策に有効です。

□ 外壁へ止まれない・産卵できない

本忌避剤を塗布又は噴霧する事で、産卵の為飛来し外壁へ止まるマイマイ蛾を抑制しますので、卵の除去作業や死骸清掃の負担が軽減されます。

※ 但し、かたまって飛来し幾重にもなった場合、下層のマイマイ蛾には効果が発揮できません

マイマイ蛾卵の除去作業

□ エバーション・W214M（マイマイ蛾など）

天然由来成分（ヒバ・ヤシ油）を主剤とした忌避剤ですが、マイマイ蛾の卵に噴霧又は塗布しますと徐々に卵を溶かしながら浸透しますので除去作業を容易にします。

□ 除去作業に関して

・通常作業

除去作業は硬いプラスチック製のヘラ等を使用し剥がしますが、その際にりん粉が舞い人肌に付着する事で発疹がでる場合がありますので、十分な注意が必要です。又、除去後の卵塊跡が残る事や下地を傷める事もあります。

忌避剤を使用した除去作業

- ・忌避剤(エバーション・W214M)を使用した除去作業

塗布又は噴霧する事で卵に忌避剤が浸透し全体が濡れた状態となります。約5分後にヘラで除去すると簡単に取れ、りん粉が舞いません。

除去直後、高圧洗浄又は水で洗い流しながらブラシで擦ると卵塊跡が残りませ



作業前



噴霧後

(10倍希釈液)



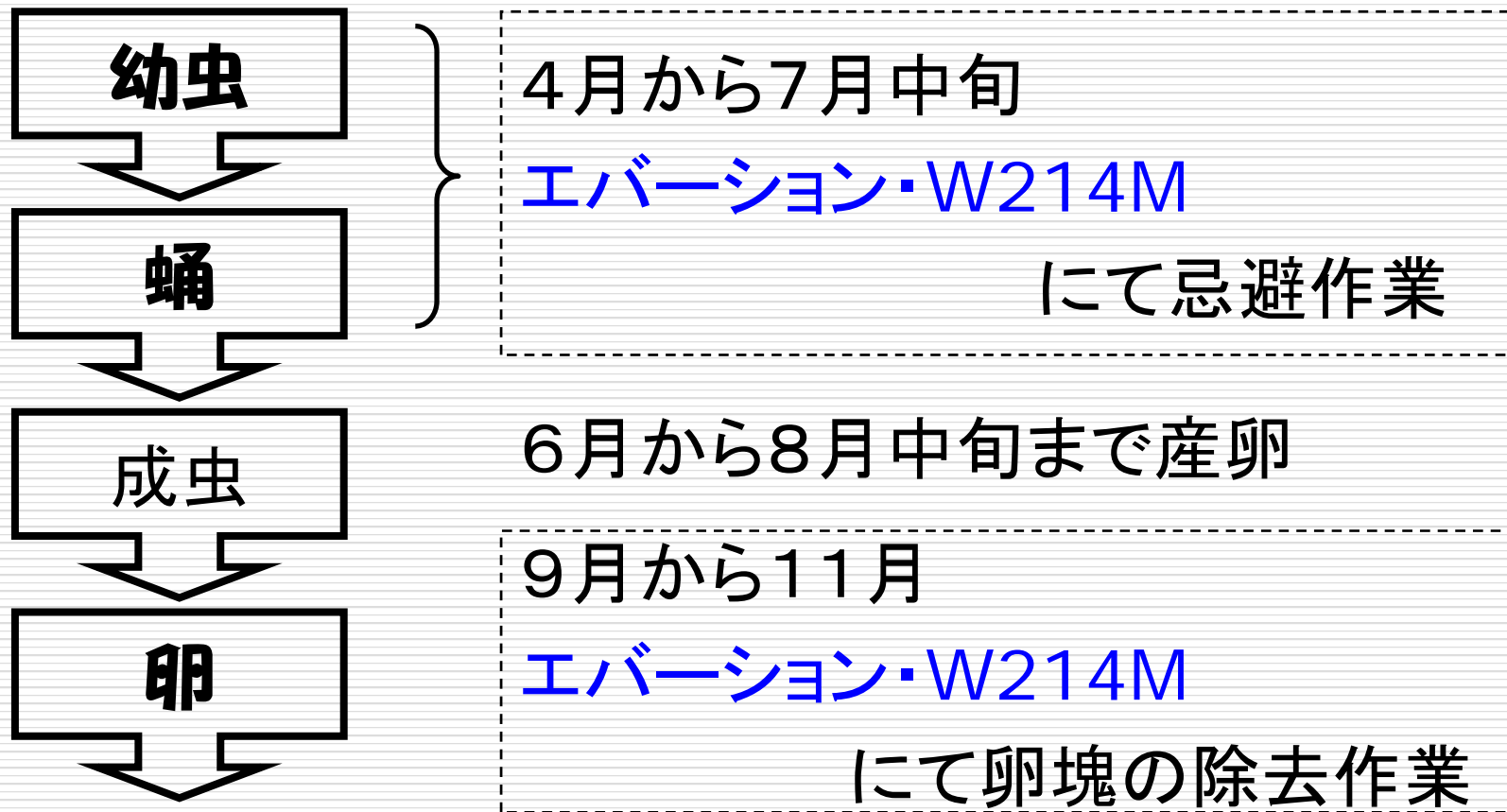
除去作業



完了

(流水のみ)

忌避剤の使用時期



マイマイ蛾の生態(参考)

□ 幼虫期 (毒針毛あり) 幼虫→蛹 約3ヶ月

春から初夏かけて発生します。草や樹木の葉を食べ成長します。夜行性で日中は葉の裏や樹木幹の隙間に隠れています。やがて、葉の裏などで蛹化します。

□ 成虫期 (成虫は7~10日の寿命)

6月から8月に羽化し成虫となり、産卵が終わると成虫は死に卵(3~500粒)は越冬します。

一般的な駆除方法(参考)

□ 卵

底部を切り取った角型ペットボトルや硬いプラスチック製のへらを使い、卵を削ぎおとす。

□ 幼虫

幼虫の体毛により痛みやかぶれを起こすことがありますので、マスクや厚手の手袋、ゴーグルなどを着用し殺虫剤(毛虫駆除用)で駆除する。

□ 成虫

ガ専用の殺虫剤を使用する。大発生した時は、効果的な駆除方法が確立されていないのが現状ですので、皮膚炎対策、拡大防止、来年に向けた発生予防を行うことが重要となり、マイマイガの発生が収まるのを待つしかありません。建物壁面などに大量に産卵しますので、来年の発生を可能な限り予防する観点から、建物壁面などに付いた卵塊を除去しましょう。

エバージョン・W214M

- エバージョン・W214に関する御問い合わせ先
技術的御質問を始めとして、何なりとお申し付け下さい。

株式会社シーアンドシー技術情報

DF・FM事業部

〒150-0036 東京都渋谷区南平台町7-15-31

電話 03-5456-1771

FAX 03-5728-5045

URL <http://www.candc-infotec.co.jp/>
